

校内研修報告：第1回校内公開授業・研究協議会のまとめ①

10月に小学部2年・5年、中学部1年、高等部1年の各授業が公開されました(校内のみ)。参加された先生からは他学年、他学部の授業を参観できる機会になり勉強になったとの意見が多くありました。授業を客観的にみることで、自身の授業改善につながったり新たな知見を得られたり様々なメリットを感じられる取り組みになったかと思います。2号に分けて各授業の研究協議会で出た意見を紹介します。「キャリア教育における目標」の設定が本研修のテーマでしたので、それに基づいてまとめています。

人を大切にする力(人間関係形成・社会形成能力)

- ・気持ちや困ったことがあるときに、周囲に伝える。・他者に自分から働きかける。
- ・自分の役割を理解し、行動する。・相手の立場で物事を考える。・役割を継続的に実行する。など



今回の公開授業の各教科で一番多く、「キャリア教育における目標」に上がった項目でした。自分から他者に発信する力や役割を理解し行動する力など、社会で生活する上で必要不可欠な能力です。授業の中で役割分担をしたり、やや難しい課題を提示し他者に働きかける機会を作ったりするなど、様々な工夫をされていました。

研究協議会では、グループ分けを工夫し児童生徒同士のコミュニケーション力を高めることができるという意見や、児童生徒からの発信を引き出すため、教員の「待つ姿勢」が大切という意見が多くあがっていました。



自分を大切にする力(自己理解・自己管理能力)

- ・呼名に応じる。(ジェスチャーなどでもOK) ・自分の気持ちを表現する。(文章や言葉で)
- ・日常生活を送る上で必要な学力、生活能力がある。など

公開授業では、自分の好きな活動を選んで取り組むことができること、呼名に様々な方法で応じることなど、発達段階に応じた児童生徒のキャリア教育目標として取り入れられている授業がありました。また、自分の気持ちを文章や言葉で表現するという項目は、振り返りシートの活用や感想タイムを取り入れることでも目標とすることができそうです。

協議会では、気持ちを表出することが難しい児童生徒に対して ICT や気持ちカードの活用をすることで他者に伝えようとする気持ちが育っていくのではないかと、呼名に応じた際にしっかりと評価をすることが大切などの意見があがりました。



次号に続きます。